

疲れてしまっていることがあります。

- ・ 出産前に体調を整えるために
- ・ 出産後の胎盤収縮不全
- ・ 妊娠最初の3か月（第1期）までの流産，習慣性流産
- ・ 偽分娩痛
- ・ 月経困難症
- ・ 不妊症
- ・ 膣炎

■ 小関節

- ・ **手足の指の関節炎**（とくに指のみに関節炎がある場合）：Causticumは、より全般的です。関節炎が、生理前に悪化することがあります。強く不安定な痛みと硬化があります。手を握ると指の関節に切るような痛みが走ることがあります。
- ・ 手首の痛み：痛みは一定せずに、数分ごとに場所が変わることがあります。



(K)

RELATIONS

- ・ Incompatible : Coffea

Causticum 水酸化カリウム [ボランティア活動]

Mixed of calcium hydroxide and potassium bisulfate

BACK GROUND

Causticumは、ハーネマンが独自に調合した化合物で、消石灰と硫酸水素カリウムの混合物です。この混合物は、ホメオパシー以外では使われていません。

Causticumは、ポリクレストレメディの1つで、多くの組織に影響を与えますが、主に、中枢神経ならびに末梢神経系、骨関節組織、皮膚に強く作用します。

一般的な症状として、粘膜のヒリヒリした痛み、粘膜や皮膚の焼けるような感覚、筋肉や関節に起こる発作性の激しい痛み、肉体的・精神的な衰弱などが特徴です。

FIRST PROVING

ハーネマン

MIND

Causticumタイプはやせ衰えていて、顔色も悪いです。体の筋肉は麻痺しやすい状態になっていて、痙攣やこわばりがみられます。寒がりです。寒くて乾燥した気候で体調をくずしやすくなります。

神経質で、動揺したり、深刻になりやすい傾向があ

ります。非常に真面目で、精神的なストレスがかかると、その影響を引きずり、精神的に弱ったり、心ここにあらずの状態になったりします。また、他人に対して非常に同情的で、悲しいニュースを見て涙を流してしまうことがあります。また、強い正義感をもっており、苦しみや不正を見ると見過ごすことができません。社会的な不正に立ち向かい、ボランティアや政治的な行動に、過度に力を注ぐケースも見られます。

精神的に疲れていて、物事を忘れっぽく、またそれにとらわれてしまうことがあり、鍵のかけ忘れや火の元の確認などを何度も繰り返しチェックしてしまいます。何か悪いことでも起きるのではないかと杞憂してしまいます。

せっかちな面もあり、仕事を急いでやったり、食事を急いで食べる傾向があります。塩味の強い食べ物や燻製肉やベーコン、チーズ、卵などを好みます。甘い物は嫌いです。水は好みませんが、冷たい飲み物は欲しがります。

Causticumの子供は、繊細で、感情的になりやすい性質です。ちょっとしたことで動揺してしまうことがあります。苦しんでいる人に対して、非常に同情的

です。取るに足らないことでも泣き出してしまうことがあります。暗闇をとくに怖がります。犬やお化けなども怖がります。寝小便をしてしまうことがあります。思春期になると理想主義になり、理想と現実の違いを感じて反抗的になることがあります。

AFFINITY

Causticumは、主に神経系（とくに運動神経、感覚神経）、筋肉組織（とくに膀胱、喉頭、四肢）、皮膚、呼吸器系に作用します。

CLINICAL APPLICATIONS

■神経系

- ・顔面神経麻痺：寒さや冷たい風に曝露された後に起こります。ときに耳鳴りがすることもあります。
- ・眼瞼下垂症：上瞼が重く感じたり、麻痺により不随意に瞼が閉じてしまいます。ヒリヒリする刺激性の涙が出る場合があります。
- ・ベル麻痺
- ・尿失禁：子供の夜尿症や高齢者の尿失禁、ストレス性尿失禁、妊婦や経産婦の圧迫性尿失禁など。咳やくしゃみ、歩行時でも尿が漏れてしまうことがあります。
- ・膀胱麻痺
- ・麻痺性の便秘
- ・舌の麻痺：構音障害が出る場合があります。
- ・顎関節症：とくに右側
- ・末梢神経麻痺：とくに体の右側の屈筋
- ・手根管症候群：夜間に手の感覚異常と痛みが起こります。しばしば両側性です。
- ・てんかん：小発作から激しい発作まで
- ・振戦
- ・パーキンソン病
- ・性欲の消失
- ・どもり：とくに興奮時
- ・うつ状態：度重なる悲観によります。
- ・強迫神経症

■関節

- ・関節リウマチ：寒さ、乾燥した気候、過度の酷使により悪化します。
- ・腱炎：腱が短くなったような感覚を伴います。
- ・筋攣縮：とくに著述業や作業員などで反復運動過多損傷によるもの

- ・関節痛
- ・痛風
- ・ふくらはぎの筋痙攣
- ・運動失調症：歩行時に足をひきずります。

■皮膚

- ・いぼ：鼻、唇、眼瞼、顔、手、指先、爪の下など
- ・火傷：とくに著しい炎症や水ぶくれのあるもの。または、古い火傷の跡で完治していないもの。
- ・湿疹：とくに耳介の後ろ
- ・にきび
- ・掻痒症

■呼吸器系

- ・咽喉炎：喉がヒリヒリと焼けるように痛み、喉に引っかかっている粘液を、常に飲み込んだり吐き出したりして取ろうとしますが、うまくいきません。声帯の麻痺により声が嗄れてしまうことがあります。寒さ、朝、声の出しすぎで悪化し、冷たい飲物で改善します。声を使う仕事の人。
- ・気管支炎：痰が奥にあります。咳で十分出し切れません。
- ・喘息

■その他

- ・斜視
- ・アルコール中毒症

MODALITY

- 暖かさ、湿気の多い気候、冷たい水を飲むこと（咳のとき）、ベッドの暖かさ、ゆっくりとした運動など
- ❏ 乾燥した寒い気候（好転することもあります）、午前3～4時、風、隙間風、かがむこと、コーヒー、脂っこい食事、夕暮れ時、暗闇など

RELATIONS

- ・Antidoted by：Asafoetida, Coffea, Colocynthis, Dulcamara, Guaiacum, Nitri spiritus dulcis, Nux vomica
- ・Antidote to：Asafoetida, China, Colocynthis, Euphrasia, 鉛中毒, Mercuriusの多用
- ・Complementary：Carbo vege, Petroselinum, Guaiacum
- ・Incompatible：Acids, Coffea, Phosphorus